



禅寺で掃除を行うことを“作務”といいます
作務に集中していると、急にいい考えが思いつくことがあります
心の中も掃除されるからです

平成 30 年 4 月
第 7 号

住職の一言

阿部雄峰

四月に入り、だいぶ暖かくなりました。暖かくなると、外に出かけたくなります。散歩に出かけたり、スポーツを楽しんだり、山登りをしたりと、外でやりたいことがいろいろ増えてくるのではないのでしょうか。

私は、この時期は外掃除に追われて、どこにも出かけられません。境内の楠の葉っぱが五月過ぎまで雪のように降ってきて、草もいたるところから勢いよく生えてきます。そのため、お参りに行く以外は掃除三昧の毎日です。しかし、境内の掃除をしながら庭いじりをして、それなりに楽しんでいきます。

禅宗の庭には、基本的に花を植えません。禅寺に行くと松や杉、慎などの常緑樹が多く植えられています。それは、禅の教えである「平常心」からきています。

私たちは、良いことがあれば有頂天になり、悪いことがあれば、落ち込み、いつも周りに振り回されて、一喜一憂。穏やかな生活ができません。故にどんなときでも変わらない心、ふだんの心を保ちなさいよ、と禅宗は教えるのです。その教えを忘れぬよう、年中姿の変わらない木を選び、境内に植えるのです。

とはいえども、やはり、この時期にキレイな花を眺めたいと思うのが人間の心情。花は人の心を癒やし、生きる活力を与えてくれます。また、寺を訪れた人を笑顔にするのも、住職の仕事。そんなことを考えながら、南側の庭にハナミズキやレンゲツツジ、芝桜、菊などを植えてみました。

まだ始めたばかりで、立派とは言えませんが、お寺に来られた際は、ぜひ庭をゆっくり眺めてみてください。

合掌

ブツダの言葉に学ぶ

眠れない者には夜は長く、
疲れきった者には道は遠い。

『法句経』

仲間や恋人とわいわい楽しく語り合う夜はあっという間過ぎ去りますが、一人悩みを抱えて眠れずに過ごす夜は、果てしなく長く感じ、時計ばかり見てしまいます。いつも歩いている道も同じです。元気な時は近くに感じるのに、身も心も疲れきっているときは普段の二倍も三倍も遠く感じるものです。

物事を感じ方はいつも同じではありません。イライラしながら食べたものは美味しいものでも美味しいと思いませんし。気分が悪い時に食べたものは美味しく感じます。

嬉しいことがあれば、他事も楽しく感じられたりしますが、逆に嫌なこと、辛いことが起こると、何をやっても面白くなくなってしまう。特に人は嫌なことがあると引きずってしまいがちです。引きずれば引きずるほど面白くないことが増えていくだけです。

そこで立ち止まってよくよく考えてみると「嫌だな」とか「つまらない」「面倒くさい」などと思っているのは自分の心なのです。

人は不平不満があると、その原因を外に求めてしまいます。たとえば職場が楽しくないといった不平不満になると、その原因を上司や同僚、仕事の内容だけに求めてしまいますが、実は苦しさや辛さも、逆に楽しさも全て自分の心が決めていることなのです。自分の心がつまらないと思った瞬間にその時間や場所がつまらなくなるのであって、最初からつまらない時間や場所がある訳ではないのです。自分の気持ちのもち方ひとつで変わるのです。

私たちは嫌なことだと感じた時、物事を変えようとしてしまいがちですが、そうではなく自分の心を変えてみることで一番の近道なのです。嫌なことだと感じ、考え始めたら、意識的に自分の気持が楽しくなるようなことを考えてみる。そのように気持ちを变えてみると人生も変わるのです。幸せになるか不幸になるかは、心次第。そのことをお釈迦様はこの言葉をおして教えてくれているように思います。



大権修利菩薩・達磨大師を修復

大権修利菩薩(だいげんしゅりぼさつ)とは、曹洞宗のお寺で伽藍神として大切にされている神様です。延命寺にも本堂の右側にこの大権修利菩薩、左側に達磨大師(禅宗の開祖)が祀られています。

この二体がシロアリと風化により、手が取れ、胴体が割れてしまっていましたので、先日仏師に依頼し修復してもらいました。

伽藍をお守りいただく菩薩様が本来の姿になって戻られ、一安心。

お寺に寄られた際には大権修利菩薩と達磨大師にも手を合わせていただければと思います。

※写真上が修復前、下が修復後



風鈴供養受付開始

今年も六月一日から風鈴供養を受付けます。本堂に戒名を書いた風鈴をつるし、九月の彼岸明けまで毎朝の朝課で戒名を読み上げ供養いたします。期間中いつでも受付しておりますので、戒名をご用意の上、お電話下さい。

供養料はお寺にお持ちいただくか、お送りいただいても結構です。

昨年同様、八月の盆施食会でも受付しております。



《受付期間》

六月一日～九月の彼岸明けまで

《供養料》

一霊につき 金千円

新盆 無料

駐車場を拡張整備

延命寺山門前の駐車場を道路に面して拡張整備し、七台余裕をもって停められるようになりました。元が畑のため、土地が落ち着くのを待ってからアスファルトを敷く予定です。

昨年ご寄附を募らせていただきましたが、とても多くの方にご協力いただきました。改めて厚く御礼申し上げます。



精進ごはんレシピ



手間はかかりますが、旬の山菜をおいしくいただけます。

【山菜けんちん蒸し】

材料（4人分）

豆腐…1丁 山菜ミックス…50g 人参…2cm きくらげ…2、3枚 干し椎茸1、2枚
水煮銀杏…4個 大和芋…20g 酒…大さじ1 みりん…大さじ1 醤油…大さじ1/2 大葉1枚
A(昆布だし…250cc 薄口醤油…大さじ1 塩…小さじ1/2 みりん20cc) 片栗粉…適量

作り方

- ①豆腐は水抜きしておく。きくらげ・干し椎茸は水に戻す。きくらげ・干し椎茸・人参は千切りにする。人参はさっと茹でて水切りする。山菜ミックスは2cm幅に切る。
- ②すり鉢に豆腐を入れよくすり混ぜる。大和芋を入れ更にすり混ぜる。
- ③②に人参・きくらげ・干し椎茸・銀杏・山菜・日本酒・醤油・みりんを入れて混ぜ合わせる。
- ④ラップに③をのせ茶巾に絞って輪ゴムで止め、湯気の上だった蒸し器で10分程蒸す。
- ⑤鍋にAを入れ一煮立ちさせ水溶き片栗粉を入れとろみをつける。
- ⑥④を器にのせ、⑤のあんを掛けて、細かく千切りした大葉を飾る。

編集後記

この春から、長男慈峰は小学四年生に、次男煌芯は小学一年生になり、三男鉄舟(一歳八ヶ月)は保育園に通っています。新しいことにチャレンジするそれぞれの姿をみていると、私自身も精進をしなければという思いがこみ上げてきます。育てながらも、自分も育てていただいていることを実感する今日この頃です。

お知らせ・募集

◆お守り作りの会

詳細は別紙をご覧ください。

◆寺子屋講座「法話と写経」

(開講日) 毎月第三土曜日

午後一時～午後三時半

(受講料) 初回千五百円、二回目以降千円

子供無料

般若心経の法話、簡単なイス坐禅、写経。

子供は写仏。

受講を希望される方は、お寺までご連絡ください。

青林山 延命寺

☎ : 490-1115 愛知県あま市坂牧郷 30

☎ : 052-444-0109

※月参り・命日のお参りなど随時受け付けております。
ホームページを開設しました。最新情報はこちらを御覧ください。
<http://www.seirinzan.com> 検索は青林山延命寺